

保育所の保育単価額(公定価格)の推移

【その他地域(丙地域)、90人定員、所長設置、民改費(処遇改善等)加算12%】

		1995年度	1998年度	2000年度	2005年度	2010年度	2015年度
0歳児	基本分単価 民改費 所長加算	乳児特別対策 補助金	151,670円 17,030円	152,700円 17,160円	149,390円 16,780円	149,150円 16,750円	148,220円 16,440円 5,280円
	計		168,700円 (99.3%)	169,860円 (100.0%)	166,170円 (97.8%)	165,900円 (97.7%)	169,940円 (100.0%)
1・2歳児	基本分単価 民改費 所長加算	85,870円 9,190円	89,830円 9,610円	90,420円 9,680円	88,370円 9,450円	88,120円 9,420円	85,570円 9,000円 5,280円
	計	95,060円 (95.0%)	99,440円 (99.3%)	100,100円 (100.0%)	97,820円 (97.7%)	97,540円 (97.4%)	99,850円 (99.8%)
3歳児	基本分単価 民改費 所長加算	41,370円 4,210円	43,440円 4,420円	43,700円 4,450円	42,570円 4,330円	42,310円 4,300円	38,550円 3,720円 5,280円
	計	45,580円 (94.7%)	47,860円 (99.4%)	48,150円 (100.0%)	46,900円 (97.4%)	46,610円 (96.8%)	47,550円 (98.8%)
4・5歳児	基本分単価 民改費 所長加算	35,440円 3,500円	37,260円 3,680円	37,480円 3,710円	36,470円 3,600円	36,210円 3,570円	32,290円 3,000円 5,280円
	計	38,940円 (94.5%)	40,940円 (99.4%)	41,190円 (100.0%)	40,070円 (97.3%)	39,780円 (96.6%)	40,570円 (98.5%)

注：2015年度の単価額は保育短時間(8時間)認定の基本分単価+処遇改善等加算(単価額×12)+所長加算

2015年度の所長加算額は4,800円+480円(40円×12)=5,280円。2015年度以外の所長加算額は基本分単価に組み込まれている。

()内は2000年度を100%とした場合の%。

資料：村山祐一「公定価格(保育費用)の特徴と保育者の処遇を考える(7)」『月刊保育情報』(No.471.FEB.2016.)を参考に
該当する年度の『保育所運営ハンドブック』(中央法規)に掲載されている保育単価表等をもとに衆議院厚生労働調査室作成